

# 平和が丘防災タイムズ 第32号

平和が丘学区防災委員会

まだまだ暑い日が続いていますが、夜には虫の音が聞こえ始め秋を感じるようになってきました。平和が丘タイムズ32号では、学区内の防災活動についてご紹介いたします。

なお、これら防災活動の状況は学区ホームページ「平和が丘だより」にも掲載していますので、是非そちらもご確認ください。

## ○ 平和が丘学区内の防災活動

### (1) 学区総合防災訓練

平成29年6月18日(日)に平和が丘小学校において「平成29年度平和が丘学区総合防災訓練」を開催し、各自治会からの参加者や関係者も含め総勢280名が参加しました。

今回は、学区内で実際に震災が発生した場合に、隣近所や自治会単位での救援救護を想定した訓練を実施しましたが、皆さん大変真剣に訓練に取り組みられ、大変有意義な訓練になったかと思えます。



### (2) めいとう総合見守り支援事業

平和が丘学区では、平成28年度(平成29年2月から実施)から引き続いて「めいとう総合見守り支援事業」に取り組んでいます。

この活動は、災害時に支援が必要な方々(以下、要支援者といいます。)のうち、地域の支援者(自治会・自主防災会の役員や民生委員など)に名簿情報を提供する同意をいただいた方について、日ごろの見守り活動と連動させ、災害時に共助による迅速な安否確認や避難支援が実際に機能する仕組みをつくることを目指した事業であり、行政と地域が一体となって取り組むものです。

7月16日(日)にはコミセンにおいて、各自治会長や自主防災会長、学区内関係団体など約70名により、同意をいただいた要支援者の名簿情報をもとに「要支援者マップ」の作成を行いました。

### (3) 自主防災会防災訓練

自治会の自主防災訓練計画がまとまり、既に実施済みのところもありますが、これから開催するところは、多くの住民の方の参加をお願いいたします。

自治会名	一丁目・二丁目	三丁目	四丁目北	四丁目南	五丁目・八前三
実施日	10月1日(日)	10月1日(日)	6月3日(土)	9月24日(日)	9月24日(日)
場 所	正敬寺駐車場	第一公園	濁池公園	第二公園	コミセン
実施内容	初期消火・防火講習 震災シミュレーション	初期消火・安否確認 情報伝達・その他	救出訓練 搬送訓練	初期消火訓練 救出・搬送訓練	三角巾・搬送訓練 心肺蘇生法(AED)
自治会名	公務員住宅	光が丘ハイツ	日車マンション	平和が丘住宅	
実施日	9月16日(土)	12月10日(日)	10月22日(日)	11月26日(日)	
場 所	敷地内	敷地内	敷地内	コミセン	
実施内容	震災シミュレーション 防災ビデオ	安否確認訓練	初期消火訓練 心肺蘇生法(AED)	三角巾 心肺蘇生法(AED)	

※訓練の詳細は、各自治会からの案内をご確認ください。

### (4) 自主防災会長研修・班長研修

- ① 7月2日(日)に名東消防署において名東消防署主催の防災リーダー研修が開催され、平和が丘学区から9名の自主防災会長が参加され、震災シミュレーション訓練(安否確認、災害情報確認等)が行われました。

② 7月9日(日)に名東消防署において、平和が丘学区主催の自主防災会班長研修を開催しました。自主防災会副会長や消火班長・救出救護班長・避難誘導班長など42名の方が参加され、災害を想定した実践的訓練(活動要領の説明やジャッキによる救出訓練、応急手当訓練、応急担架による搬送訓練等)が行われました。

### (5) 防災あんしん調査票の実施

既に各ご家庭から提出されていると思いますが、今年も第十四次防災あんしん調査票による調査を行い、徹底した個人情報管理の下、災害時の安否確認・救出救護、支援物資・支援金などの基礎資料、要援護者の事前把握に限定して使用させていただきますので、今後も積極的に記入し提出願います。なお、まだ提出されておられない方は各自治会長に早急に提出願います。

## ○平和が丘消防団の役割と活動

平和が丘消防団の組織は、平成2年4月に結成され、9月1日時点の団員は男性17名、女性4名の21名(定員25名)で活動しています。

結成以来、平和が丘学区行事である「夏まつり」や「スポーツフェスタ」等の警備、急病人の介護の役目を持って活動しています。

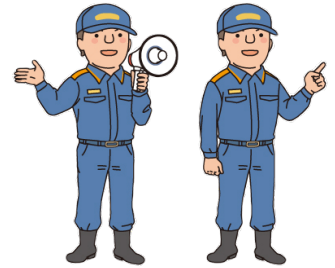
また、6月には学区総合防災訓練を、消防署や平和が丘学区防災委員会との共催で開催しています。そして、大きな仕事としては、年末の火災予防を兼ねた年末警備や、毎月19日の「防火の日」の巡回を行っています。

今、消防団としての大きな悩みは、消防団員不足です。

従来、規約では各自治会から最低1名は参加することと明文化されていますが、参加されていない自治会が3丁目、4丁目、5丁目、平住、日車マンションと学区の半分にのぼります。1人でも2人でも参加していただける事を是非お願いいたします。年齢は18歳から65歳、学生や女性の方からの応募も受け付けています。

なお、平成29年9月1日付で愛知東邦大学の学生5名が新たに入団されました。

(平和が丘消防団 団長 山田 賢)



## □防災お役立ち情報（避難所・避難場所・一時集合場所）

避難所や避難場所という言葉をよく聞きますが、各自治会で集合場所として決めている地域の公園等は何というのでしょうか？

答えは「一時集合場所(現地本部)」と言い、災害発生時に住民が一旦集合し町内の安否状況の確認や、その後の自主防災会での救援活動における現地本部になります。また、災害状況により、一時集合場所から全員で指定避難所に移動する場合があります。

避難所・避難場所とは、自宅にとどまると命を守れない場合など、命を守るために災害の危機からまずは逃げるための場所のことで、平和が丘小学校や東邦高校、猪子石中学校、コミセンが指定緊急避難場所および指定避難所に指定されています。

なお、緊急避難の必要性がない場合や、災害の危険が解消され、かつ自宅が被災していない場合など災害発生後に自宅での滞在が可能な場合は、自宅での滞在(在宅避難)も考えましょう。

【各自治会で定めた「一時集合場所(現地本部)」】

一丁目・光ヶ丘ハイツ	梅廻間公園	四丁目北	濁池公園	公務員住宅	公住駐車場
二丁目	正敬寺駐車場	四丁目南	第二公園	平和が丘住宅	東邦高校グラウンド
三丁目・日車マ	第一公園	五丁目・八前三丁目	八畝公園		

<編集後記>

9月3日(日)に豊が丘小学校で開催された「名東区総合防災訓練」に参加してきました。

災害発生時には、地域で助けあう「共助」がとても大切ですが、そのためには、まず自分が助ける側に回るための「自助」、すなわち家具の転倒防止や避難用品の確保を確実に  
行っておくことがとても重要であることを、改めて認識しました。(編集 前島)



平和が丘だより 検索